

## 国民異例の予算案賛成

国民民主党は二十一日の衆院本会議で、二〇二一年度予算案に賛成した。本予算への賛否は与野党を分ける基準とも言われ、主要野党が賛成するのは極めて異例。玉木雄一郎代表は「政策本位で協力できる政党とは与野党を問わず連携する」と語るが、他の野党からは批判の声が上がる。夏の参院選での野党候補の一本化にも影響しかねない。=●面参照（井上峻輔）

「『野党は反対』という前例踏襲ではなく、何が国民生活にとって最良かといつ観点から判断した」。本会議での賛成討論で、玉木氏は説明した。

予算案への賛成理由として玉木氏が挙げるのは、同党が訴えてきたガソリン税を一時的に軽減する「トライガーフルタ」の凍結解除について、岸田文雄首相が検討を明言したことだ。玉木氏は二十二日の会見で「首相と私で結んだことが全てだ」と、党首闘で合意したとの認識を示した。

國民は昨年の衆院選で議席を伸ばしたもののが参考計

二十三議席で、直近の共同通信社の世論調査でも政党支持率は2・4%と低迷。

政策を実現して存在感を高めるため、与党に近づいた

立派な政治家

の立派な政治家

の立派な政治家